

## 感染症

### 相双地域感染症発生動向調査週報(2025年第50週)

(令和7年12月8日～令和7年12月14日)

令和7年12月18日

区分	疾 病 名	2025年					2024年合計	2023年合計
		47週	48週	49週	50週	合計		
定点報告	インフルエンザ	74.00	65.67	61.00	31.00	—	—	—
		222	197	183	93	2,374	1,616	2,660
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.00	2.00	0.67	1.00	—	—	—
		3	6	2	3	1,124	3,622	2,663
	RSウイルス感染症	0.50	—	—	0.50	—	—	—
		1	0	0	1	155	309	425
	咽頭結膜熱	—	—	—	0.50	—	—	—
		0	0	0	1	76	337	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.50	1.00	1.00	—	—	—
		2	3	2	2	234	657	237
	感染性胃腸炎	—	—	0.50	1.00	—	—	—
		0	0	1	2	430	610	988
	水痘	1	—	0.50	0.50	—	—	—
		2	0	1	1	10	6	1
	手足口病	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	15	952	129
	伝染性紅斑	1.00	0.50	—	0.50	—	—	—
		2	1	0	1	141	0	8
	突発性発しん	0.50	—	—	0.50	—	—	—
		1	0	0	1	56	182	266
	ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	4	19	319
	流行性耳下腺炎	—	—	0.50	—	—	—	—
		0	0	1	0	10	13	15
	急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	2	9	13
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	14	1	3
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	2.00	5.00	6.00	1.00	—	—	—
		2	5	6	1	41	16	1
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	3.00	8.00	1.00	3.00	—	—	—
		3	8	1	3	31	19	10
	新型コロナウイルス感染症(入院)	—	—	—	1.00	—	—	—
		0	0	0	1	54	120	19
	急性呼吸器感染症(ARI)	136.33	129.33	136.67	89.67	—	—	—
		409	388	410	269	8,319	—	—
全数報告	結核	0	0	1	0	4	1	2
	つつが虫病	0	1	0	0	2	1	0
	梅毒	0	0	1	0	2	6	6
	百日咳	1	1	7	1	134	0	0

カラー表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	インフルエンザ の流行が見られます。
全数把握疾患	百日咳(学童1名) の報告がありました。

インフルエンザ	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しました。 本県における第50週の定点あたり報告数は18.67と、3週連続で前週を下回りました。第47週(86.71)をピークに減少していますが、現在も警報は続いています。インフルエンザウイルスに感染すると、38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が現れ、喉の痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。子どもは、まれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫が低下している方は肺炎を伴うなど重症になることがあります。ワクチン接種や基本的な感染対策の徹底をお願いします。 救急外来等の受診に迷う場合は専門家による助言を受けられる電話相談窓口を活用して下さい。 #8000「福島県子ども救急電話相談」毎日午後6時～翌朝8時 看護師、保健師、医師が子どもの様子を聞き、家庭での対処法等の助言や必要があれば受診可能な医療機関を案内します。 #7119「福島県救急電話相談」毎日24時間 受診や救急車要請の必要性など、専門家による助言が受けられる電話相談窓口です。 15歳未満の方の症状に関する相談は、#8000を利用して下さい。
新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して増加しました。 本県では、3週ぶりに報告数が増加しました。過去2年の傾向から、今後年末にかけて増加が見込まれるため注意が必要です。インフルエンザと同様、基本的な感染対策の徹底をお願いします。
感染性胃腸炎	ノロウイルスによる感染事例が増えています。 感染性胃腸炎は、秋から冬にかけて流行する感染症で、1～3日程度の潜伏期間の後、嘔吐、下痢、腹痛等の症状が生じます。汚染された食品や、病原体が直接口から入ることで感染することから、トイレの後や、調理・食事の前に、石けんと流水で十分な手指消毒を行いましょう。
結核	本県で2名の報告がありました。 報告が続いています。現時点で昨年の報告数を上回っており、高齢者や若年の外国出生者が多くを占めています。外国人労働者を多く雇用する事業主や高齢施設は、既存の感染対策に加え、結核対策としての定期健康診断を実施しましょう。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2025年第50号